

平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基 本 目 標 1 健やかな暮らしを支え、安全で快適に暮らせるはつかいち
政 策 目 標 3 やさしい心で支え合い、健やかに暮らせるまちに
重 点 的 取 組 3 高齢者や障がいのある人など誰もが自分らしく地域で暮らせるよう支援する

担当課名	福祉保健部 社会課
予算科目	会計 01 一般会計 款 03 民生費 項 01 社会福祉費 目 01 社会福祉総務費

事業名	社会福祉一般事業	事業開始年度	平成 22 年度
	災害弱者への支援	根拠法令 条例 個別計画等	廿日市市災害時要援護者避難 支援制度実施要領

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	災害時要援護者 (高齢者・障がい者 等)	地域において、平常時から災害時要援護者の所在を把握し、災害が発生するおそれがあるときに、的確かつ迅速な安否確認、避難誘導、避難支援を地域の中で受けられるような地域づくりを目指す

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	民生委員児童委員協議会 町内会連合会、区会、総 代会などの地域団体等	・制度の周知 ・個人情報の管理 ・災害時要援護者台帳の整備 ・個別計画作成の支援

3 平成 25 年度 予算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

活動内容

・実施の内容

平成25年度の事業実施内容は、要援護者の新規申請受付、既登録者のデータメンテナンス、避難支援者の登録依頼を重点的に行う。

・事業の進め方

◎新規申請受付について

高齢者は、9月から11月にかけて地域の民生委員が実施する高齢者訪問事業で周知・登録依頼をする。障がいのある方は、障害福祉課より登録申請書等を送付し、手上げ方式により登録依頼をする。

◎既登録者データのメンテナンス

災害時要援護者として既に登録済の方々の方々のデータについて、転出・死亡等のデータ更新処理をする。

◎避難支援者の登録依頼

協定支援団体と連携し、避難支援者への登録を呼び掛けるとともに、各地域内で未協定となっている自治組織との協定締結を実施する。

・事業費関連

◎災害時要援護者、避難支援者の新規データ等の入力補助員として臨時職員を雇用する。

【歳出】

賃金（人件費）

157 千円

交通費

10 千円

コスト情報（円）

項目		平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	平成 25 年度予算	
財源内訳	直接事業費 A	2,932,932	1,290,000	167,000	
	国庫支出金				
	県支出金				
	借入金（市債）				
	その他(使用料など)				
	市（市税など）	2,932,932	1,290,000	167,000	
人件費（按分）B		0.56 人 4,955,440	0.82 人 7,262,740	0.11 人 962,720	
総事業費（A+B）		7,888,372	8,552,740	1,129,720	
単位 換算 コスト	①人口（4月1日現在）	118,353 人	118,353 人	118,000 人	
	市民1人当たり	67	72	10	
	②要援護者	1,200 人	2,000 人	2,400 人	
	要援護者1人当たり	6,574	4,276	471	

到達目標

活動及び成果指標		単位	H 23 実績値	H 24 目標値	H 25 目標値	H 27 目標値	備考
活動 成果	登録者数	人	1,300	2,000	2,400	3,000	
	協定支援団体数	団体		24	25	28	
	支援者数	人		500	1,500	3,500	